

調査の概要

1. 調査の目的

区政等に対する区民の認知度や取り組みへの評価、ニーズ等を把握し、区政運営に反映させ、区政運営方針及び区将来ビジョンに活用することを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市守山区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の18歳以上の男女（外国人を含む） 2,000人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和4年11月11日～ 12月 2日

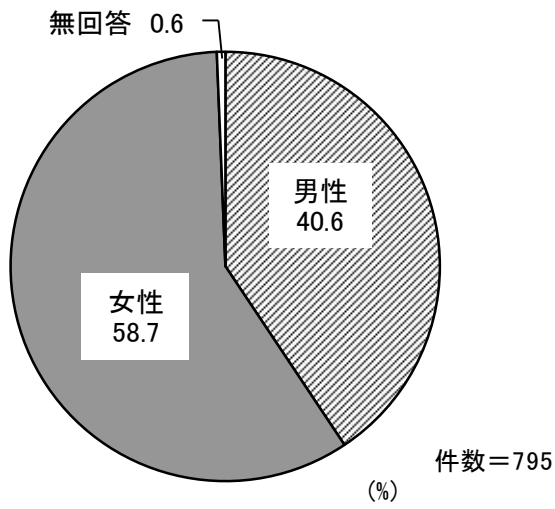
7. 回収数

795人（39.8%）

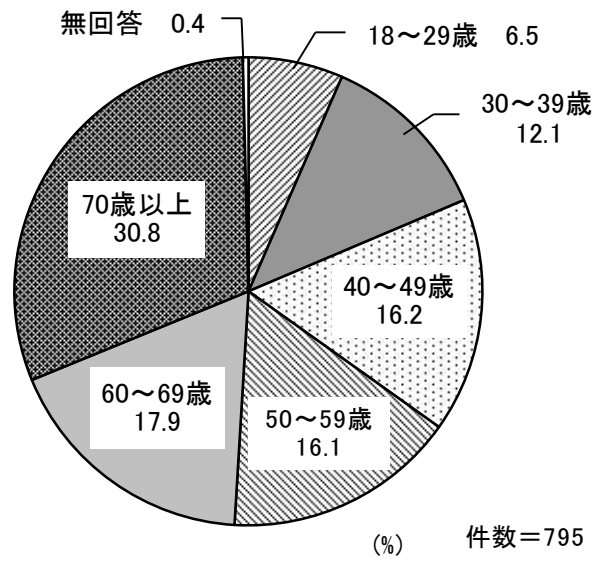
調査の結果

1. 対象者の属性

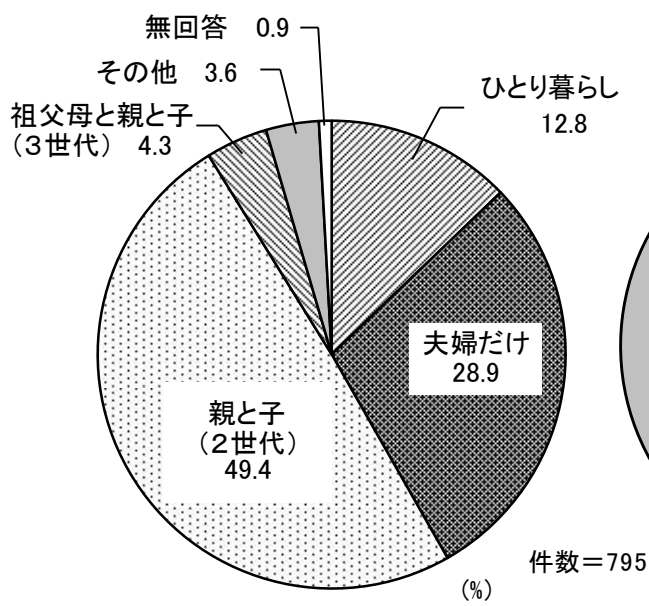
■性別



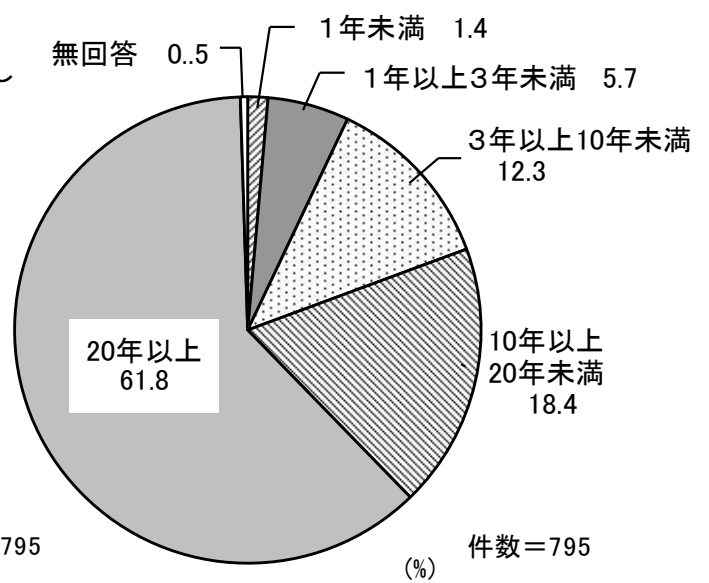
■年齢



■家族構成



■区内居住年数



■居住学区

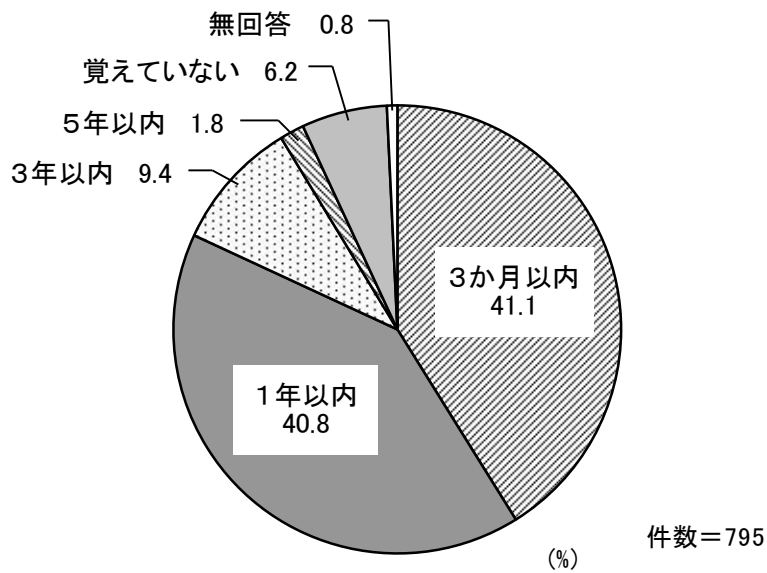
区役所計	大森	大森北	天子田	森孝西	本地丘	森孝東	小幡	小幡北	苗代	守山	西城	二城	白沢	廿軒家	鳥羽見	瀬古
630	45	32	26	31	13	26	64	23	64	63	21	31	37	58	35	61

(件)

志段支所計	志段味東	志段味西	吉根	下志段味	上志段味
156	30	39	40	22	25

わからない	無回答
1	8

■直近来庁時期



2. 守山区将来ビジョン・区政運営方針について

2-1 将来ビジョンの施策について

問1. 守山区では、令和2年度に策定された区将来ビジョンにおいて下記のような施策を掲げ、取り組みを実施してまいりました。

将来像 人と自然の調和する 元気あふれるまち守山

施策 I 安心・安全で快適なまちづくり

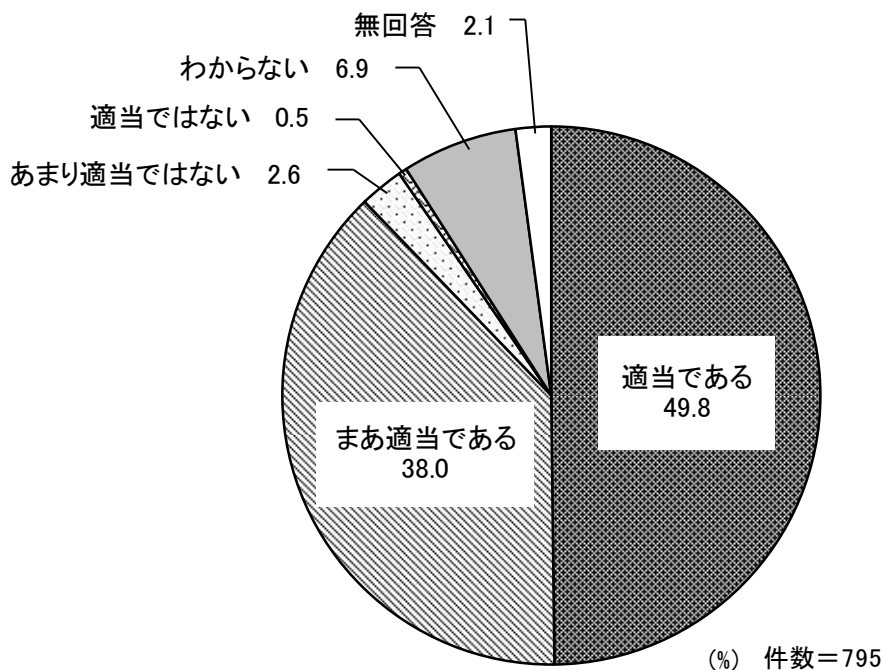
II 子どもが健全に育つまちづくり

III 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり

IV 区の特徴・魅力を活かしたまちづくり

あなたは、この4つの施策を掲げていることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

○ 令和2年度に策定された区将来ビジョンにおいて上記4つの施策を掲げていることについては、「**適当である**」が49.8%と半数を占め、「**まあ適当である**」は38.0%で合わせて87.8%と9割程が肯定的に捉えており、「**あまり適当ではない**」、「**適当ではない**」は1~3%と僅かであり、区民の評価は高くなっている。



2-2 施策ごとの主な取り組みと実績について

「守山区将来ビジョン」とは下記の将来像と施策を掲げ、守山区の令和2年度から令和5年度までの取り組みを体系化したものであり、令和2年5月に策定されました。次回は令和6年度から令和10年度までの計画になります。

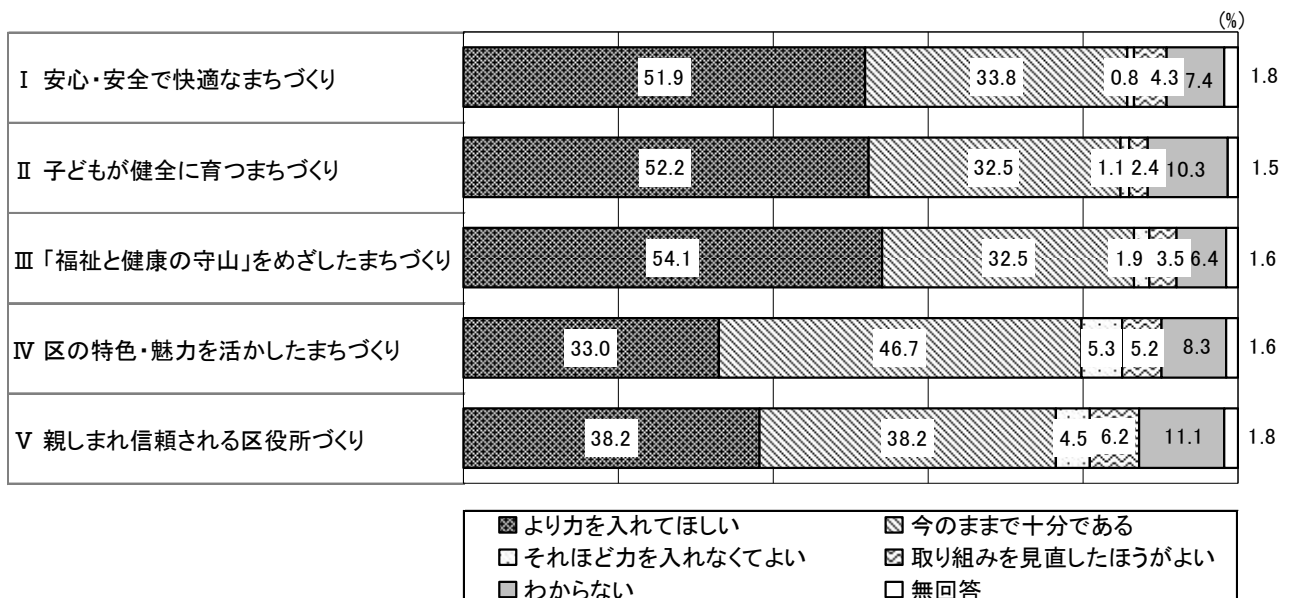
将来像 人と自然の調和する 元気あふれるまち守山

- 施策 I 安心・安全で快適なまちづくり
 II 子どもが健全に育つまちづくり
 III 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり
 IV 区の特徴・魅力を活かしたまちづくり

これを「区政運営方針」にて進捗管理し、施策に V 親しまれ信頼される区役所づくり を加えます。

次ページから紹介されている、施策ごとの主な取り組みをご覧ください、今後どのような取り組みに力を入れていくべきか、あなたのお考えをお聞かせください。

○ 施策 5項目については、「より力を入れてほしい」の割合は、「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり（54.1%）と「子どもが健全に育つまちづくり」（52.2%）、「安心・安全で快適なまちづくり」（51.9%）の3項目については過半数を占め、高い結果となった。「区の特徴・魅力を活かしたまちづくり」については「今のままで十分である」という意見が46.7%と最も多く、「親しまれ信頼される区役所づくり」については、前記の2つは同率となっている。



(1) 施策Ⅰ【安心・安全で快適なまちづくり】について

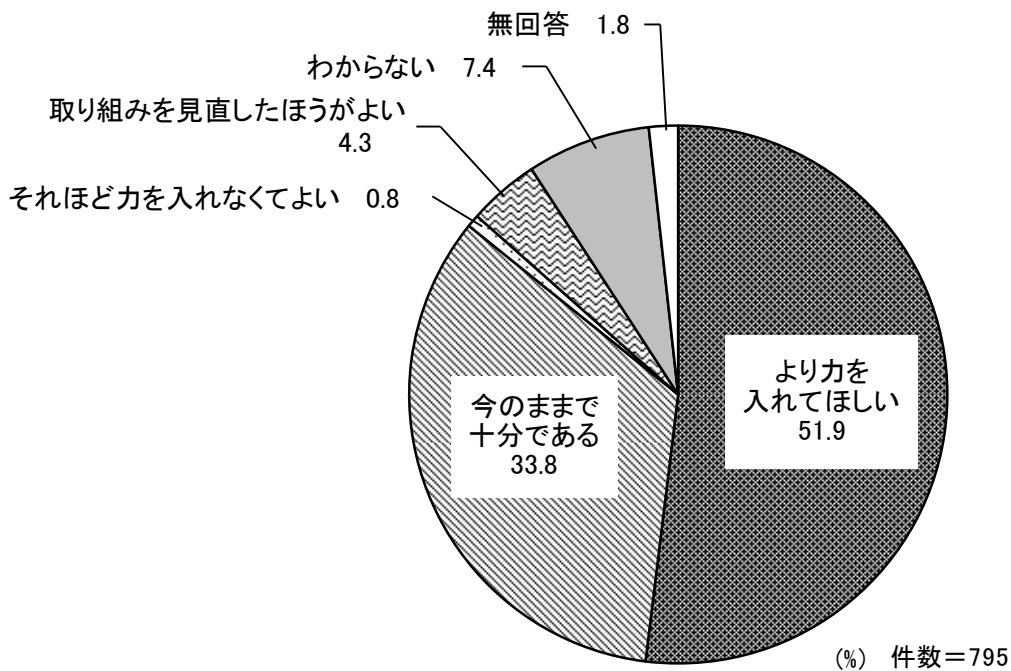
○ 安心・安全で快適なまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 51.9%と過半数を占め、「今のままで十分である」は 33.8%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は 1~4%と少なく、区民のニーズは高くなっている。

問2. 施策Ⅰ【安心・安全で快適なまちづくり】についておたずねします。

〈主な取り組みと実績〉

- ・防災活動の推進（中学校における防災訓練・講演会の実施〔代替事業〕）
（指定避難所運営リーダー研修の実施〔中止〕など）
- ・防犯活動の推進（各種啓発活動を実施し、重点罪種の認知件数を前年度件数以下に抑制）
- ・交通安全活動の推進（各種啓発活動を実施し、交通事故件数を前年度件数以下に抑制）
- ・清潔で住みよい環境づくりの推進（全市一斉クリーンキャンペーン等啓発活動の推進）
（犬・猫による迷惑防止対策の実施など）

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は1つだけ）



(2) 施策Ⅱ【子どもが健全に育つまちづくり】について

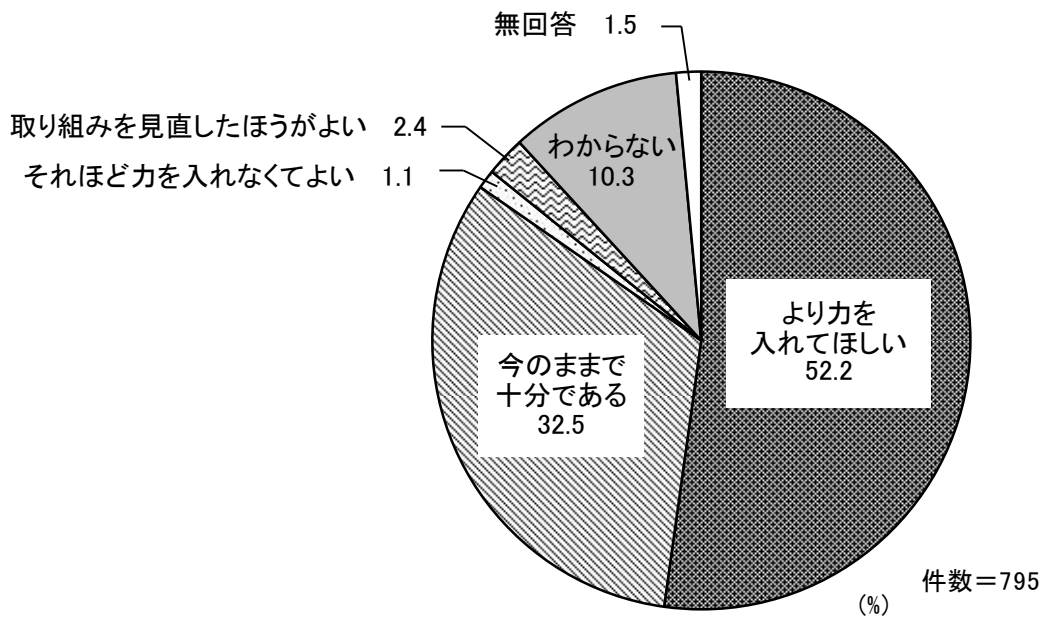
○ 子どもが健全に育つまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 52.2%と過半数を占め、「今のままで十分である」は 32.5%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は 1~2%と僅かであり、区民のニーズは高くなっている。

問3. 施策Ⅱ【子どもが健全に育つまちづくり】についておたずねします。

〈主な取り組みと実績〉

- ・地域で連携した子育て支援の推進（子育て支援ネットワーク事業の実施など）
- ・妊娠期からの切れ目のない支援（子育て総合相談窓口における支援
〔相談件数 電話：1,427件 来所：3,991件〕など）
- ・親子が集う場や子育て講座・教室の提供（思春期セミナーの開催〔小・中学校：13校〕
（子育てマップの発行、子育て情報サイトの運営）
（初めての離乳食教室の実施〔満足度：「とても満足」「満足」合わせて98.2%〕など）

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は1つだけ）



(3) 施策Ⅲ【「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり】について

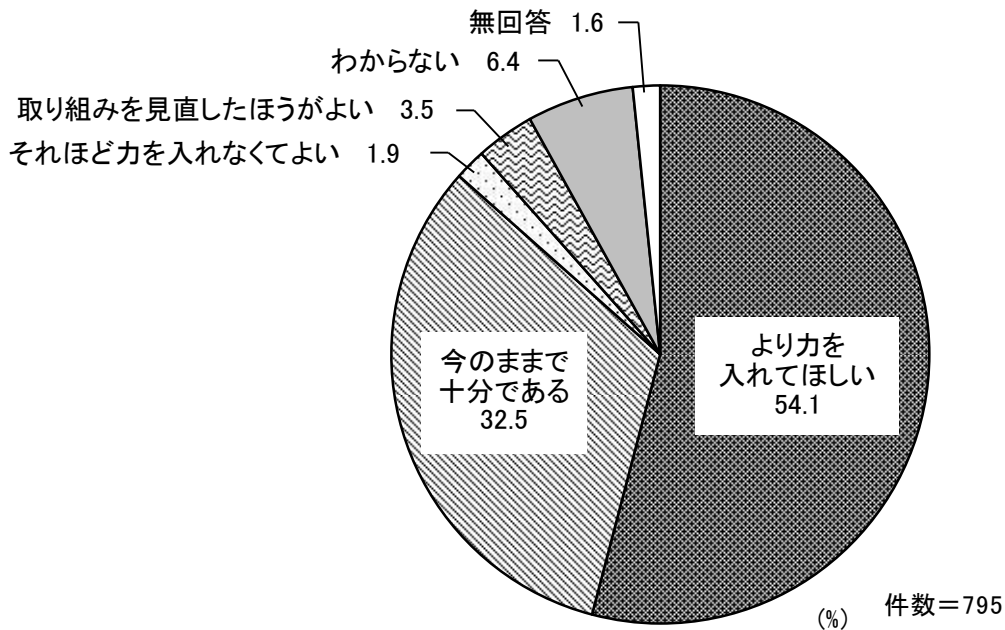
○ 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 54.1%と 5つの施策のうち最も高く、「今のままで十分である」は 32.5%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は 2~4%と少なく、区民のニーズはかなり高くなっている。

問4. 施策Ⅲ【「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり】についておたずねします。

〈主な取り組みと実績〉

- ・ 高齢者が自分らしい暮らしを続けるための支援（地域包括ケアシステムの構築）
（アクティブシニアチャレンジポイント事業の実施〔応募条件達成者数：434人〕
（地域支えあい事業実施学区への支援〔活動学区：5学区〕など）
- ・ 援助が必要な方へのサポート体制の充実（障害者の自立支援と社会参加の促進など）
- ・ がんの早期発見と健康づくりの推進（乳がん自己触診法教室の開催など）

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は1つだけ）



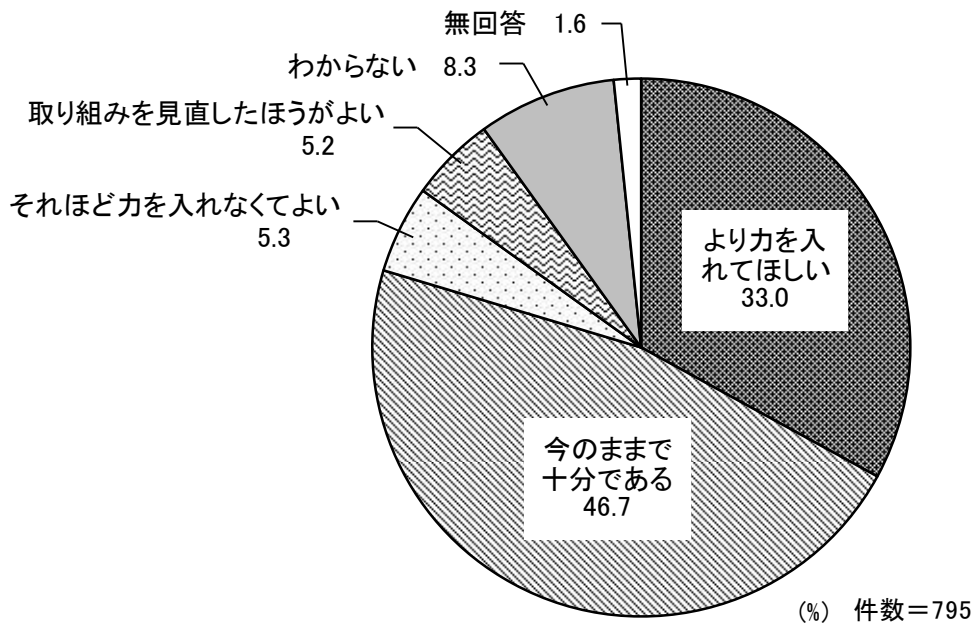
(4) 施策Ⅳ【区の特徴・魅力を活かしたまちづくり】について

○ 区の特徴・魅力を活かしたまちづくりについては、「今のままで十分である」が46.7%と半数弱を占め、「より力を入れてほしい」は33.0%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」はともに5%程と少なくなっている。

問5. 施策Ⅳ【区の特徴・魅力を活かしたまちづくり】についておたずねします。

〈主な取り組みと実績〉

- ・ 区民相互のふれあいと交流の場を創出（「守山・しだみ レモンプロジェクトの開催〔守山区の魅力を発信するアニメーション作成、まち歩きイベントの実施〕など）
 - ・ 豊かな水と緑の保全や広報（「守山自然ふれあいスクール事業」の開催など）
 - ・ 歴史や伝統を伝える人材の育成（「守山探検隊によるお宝発見事業」の実施など）
 - ・ 文化・芸術・スポーツ・社会教育活動の支援（各種展覧会の実施〔中止〕など）
- あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は1つだけ）



(5) 施策V【親しまれ信頼される区役所づくり】について

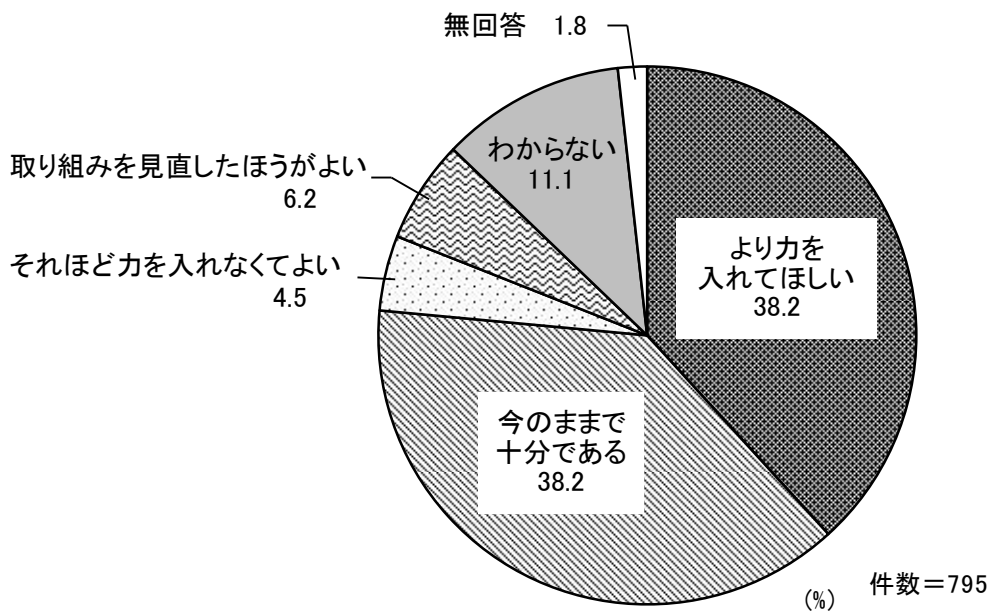
○ 親しまれ信頼される区役所づくりについては、「今のままで十分である」と「より力を入れてほしい」は、ともに38.2%と高く、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は5~6%と少なくなっている。また、「わからない」が11.1%と、5項目のうち一番多くみられた。

問6. 施策V【親しまれ信頼される区役所づくり】についておたずねします。

〈主な取り組みと実績〉

- ・ 区民ニーズの把握と区政への反映（区民会議の開催〔開催：2回〕）
（区民アンケートの実施〔回収率：45.5%〕）
- ・ 信頼される区役所づくり（職場単位での研修の実施）

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は1つだけ）

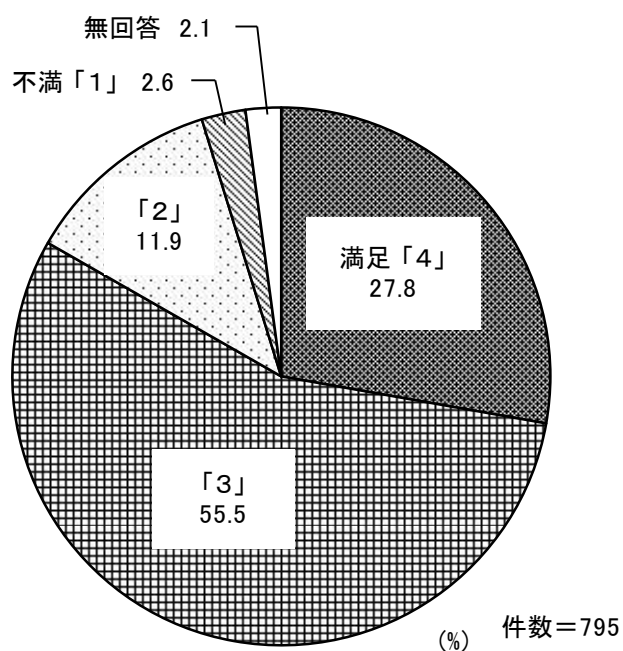


3. まちづくりについて

3-1 住み心地について

○ 守山区での暮らし、住み心地については、「満足 4」が 27.8%で、「3」(55.5%) を合わせて 83.3%と 8 割以上の区民が満足側の回答をしている。一方、「不満 1」(2.6%)、「2」(11.9%) を合わせた 14.5%が、不満側の回答している。

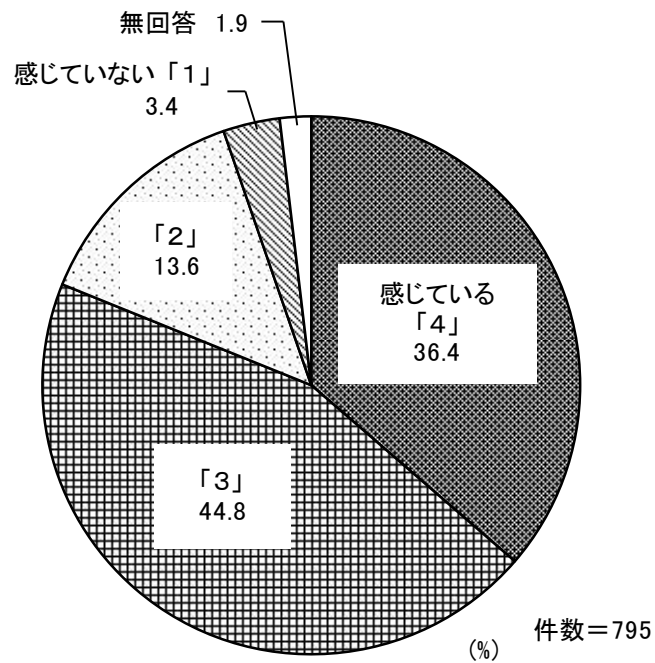
問7. あなたは、守山区での暮らし、住み心地についてどう思いますか。(○は1つだけ)



3-2 守山区への愛着感について

○ 守山区に愛着を感じているかについては、「感じている 4」が36.4%で、「3」(44.8%)を合わせて81.2%と、8割以上の区民が愛着を感じている側の回答をしている。一方、「感じていない 1」(3.4%)、「2」(13.6%)を合わせた17.0%が、感じていない側の回答している。

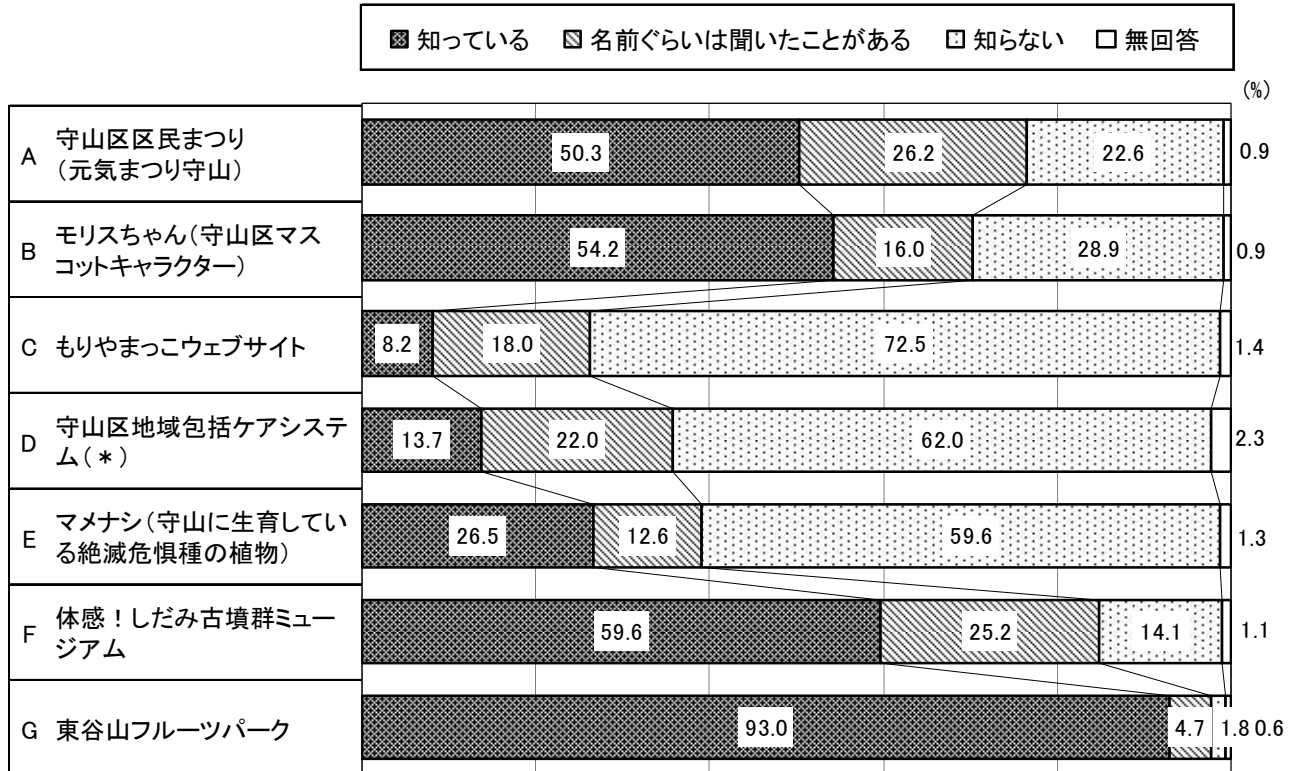
問8. あなたは守山区に愛着を感じていますか。(○は1つだけ)



3-3 守山区にすることがらについての認知状況

○ 守山区に関する下記のことがらについては、「知っている」の割合は、「東谷山フルーツパーク」は93.0%と大半の区民が認知しており、「体感！しだみ古墳群ミュージアム」(59.6%)と「モリスちゃん(守山区マスコットキャラクター)」(54.2%)、「守山区区民まつり(元気まつり守山)」(50.3%)についても、過半数の区民が「知っている」と回答している。また、「守山区区民まつり(元気まつり守山)」と「体感！しだみ古墳群ミュージアム」については、「名前ぐらいは聞いたことがある」の割合も3割弱みられ、8割前後の区民が見聞きしている。一方、「もりやまっこウェブサイト」(72.5%)については7割以上、「守山区地域包括ケアシステム(高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域社会づくり)」(62.0%)と「マメナシ(守山に生育している絶滅危惧種の植物)」(59.6%)については6割程が、「知らない」と回答している。

問9. あなたは、守山区にすることがらについて、それぞれどのくらいご存知ですか。
項目ごとに該当する番号に○をつけてください。

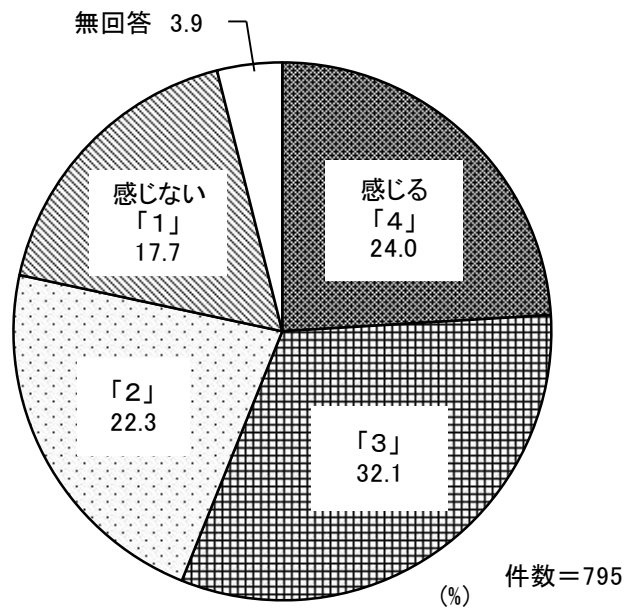


注：(*)は(高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域社会づくり)

3-4 モリスちゃんへの愛着感

○ モリスちゃんに愛着を感じるかについては、「感じる 4」(24.0%)と「3」(32.1%)を合わせて56.1%と、区民の6割弱が愛着を感じる側の回答をしている。一方、「感じない 1」(17.7%)、「2」(22.3%)を合わせた40.0%が、愛着を感じない側の回答をしている。

問10. 「モリスちゃん」についてお聞きます。あなたは、モリスちゃんについて愛着を感じますか。
(○は1つだけ)



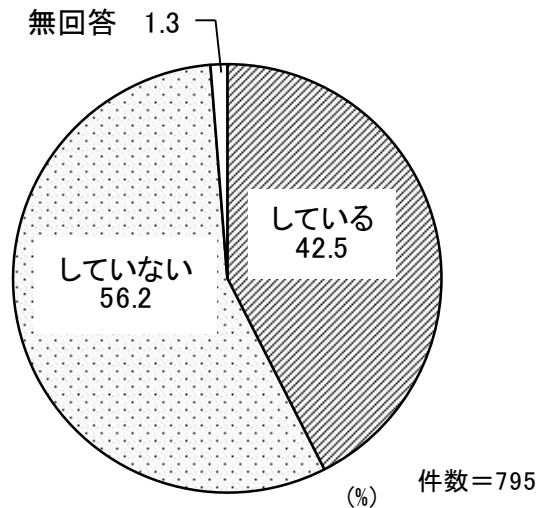
4. 地域とのつながりについて

4-1 地域の方々との交流について

(1) 地域の方々との交流の有無

○ 地域の方々との交流については、「している」は42.5%と4割強で、「していない」は56.2%と過半数を占めている。

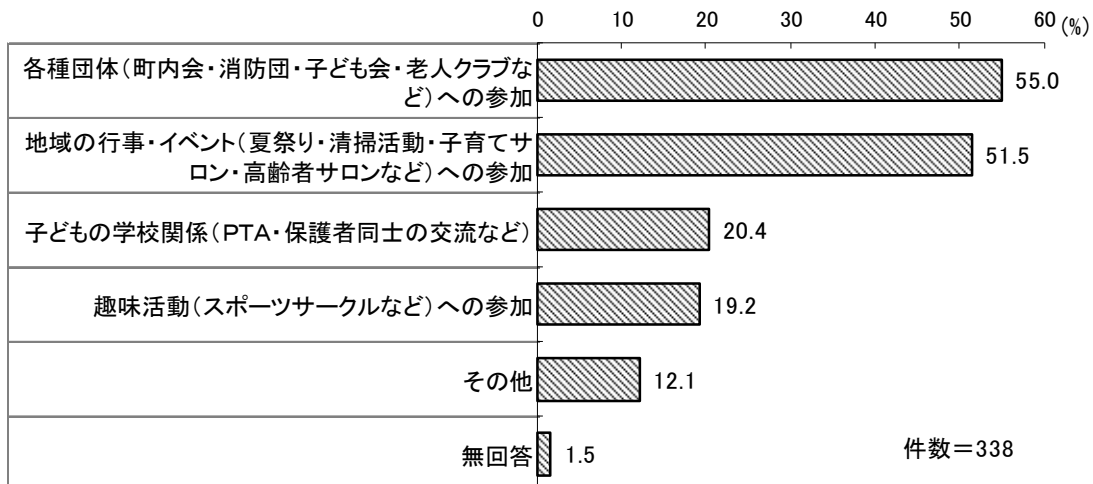
問11. (1) あなたは地域の方々との交流をしていますか。(○は1つだけ)



(2) 行っている交流

○ 地域の方々との交流をしている方(338人)では、「各種団体への参加」(55.0%)と「地域の行事・イベントへの参加」(51.5%)は、ともに過半数と多く、「子どもの学校関係」(20.4%)と「趣味活動への参加」(19.2%)は、それぞれ2割程度となっている。

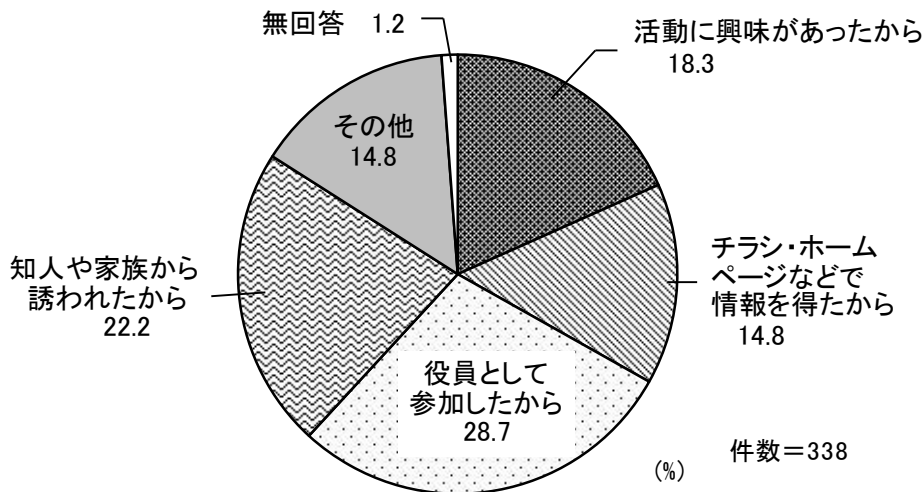
(2) 「している」と答えた方にお聞きます。どのような交流をしていますか。(○はいくつでも)



(3) 交流のきっかけ

○ 地域の方々と交流をしている方（338人）のきっかけとしては、「役員として参加したから」の割合が28.7%と最も高く、「知人や家族から誘われたから」（22.2%）、「活動に興味があったから」（18.3%）、「チラシ・ホームページなどで情報を得たから」（14.8%）と続いている。

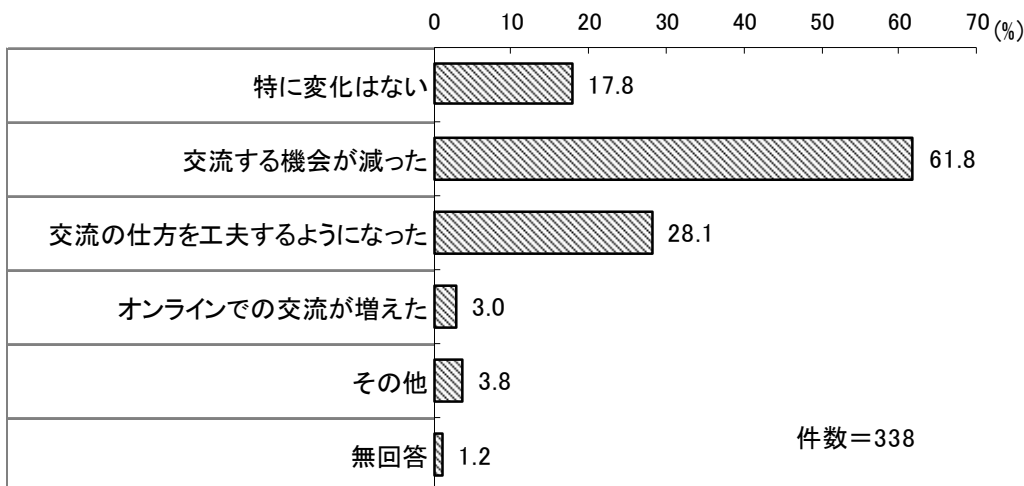
(3) 「している」と答えた方にお聞きます。交流のきっかけは何ですか。（○は1つだけ）



(4) 新型コロナウイルスの影響による変化

○ 地域の方々と交流をしている方（338人）の新型コロナウイルスの影響による変化としては、「交流する機会が減った」は61.8%と多く、次いで「交流の仕方を工夫するようになった」（28.1%）となっている。一方、「特に変化はない」は17.8%であった。

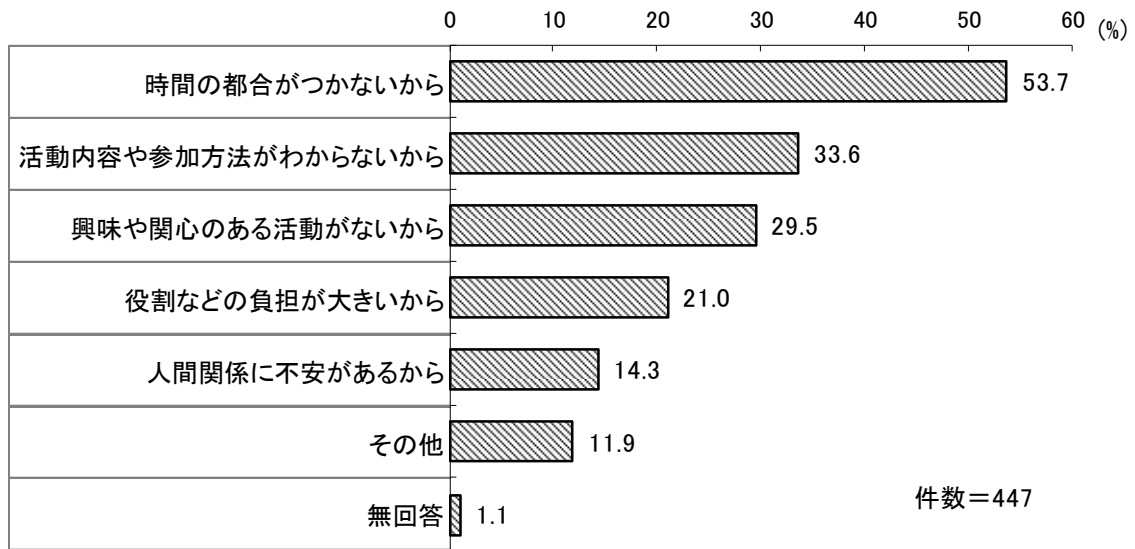
(4) 「している」と答えた方にお聞きます。
新型コロナウイルスの影響により、交流にどのような変化がありましたか。（○はいくつでも）



(5) 交流していない理由

○ 地域の方々と交流をしていない方 (447 人) の理由としては、「時間の都合がつかないから」が 53.7%と最も高く、「活動内容や参加方法がわからないから」(33.6%)、「興味や関心のある活動がないから」(29.5%)、「役割などの負担が大きいから」(21.0%)と続いている。

(5) 「していない」と答えた方にお聞きします。交流していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

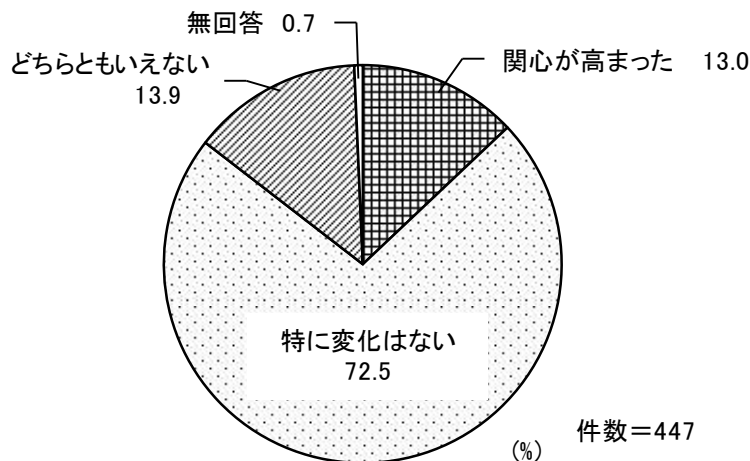


(6) 新型コロナウイルスの影響による交流に対する意識変化

○ 地域の方々と交流をしていない方 (447 人) では、新型コロナウイルスの影響による交流に対する意識は、「特に変化はない」は 72.5%と 7 割以上を占めている。一方、「関心が高まった」は 13.0%と少なくなっている。

(6) 「していない」と答えた方にお聞きします。

新型コロナウイルスの影響により、交流に対する意識の変化はありましたか。(○は1つだけ)

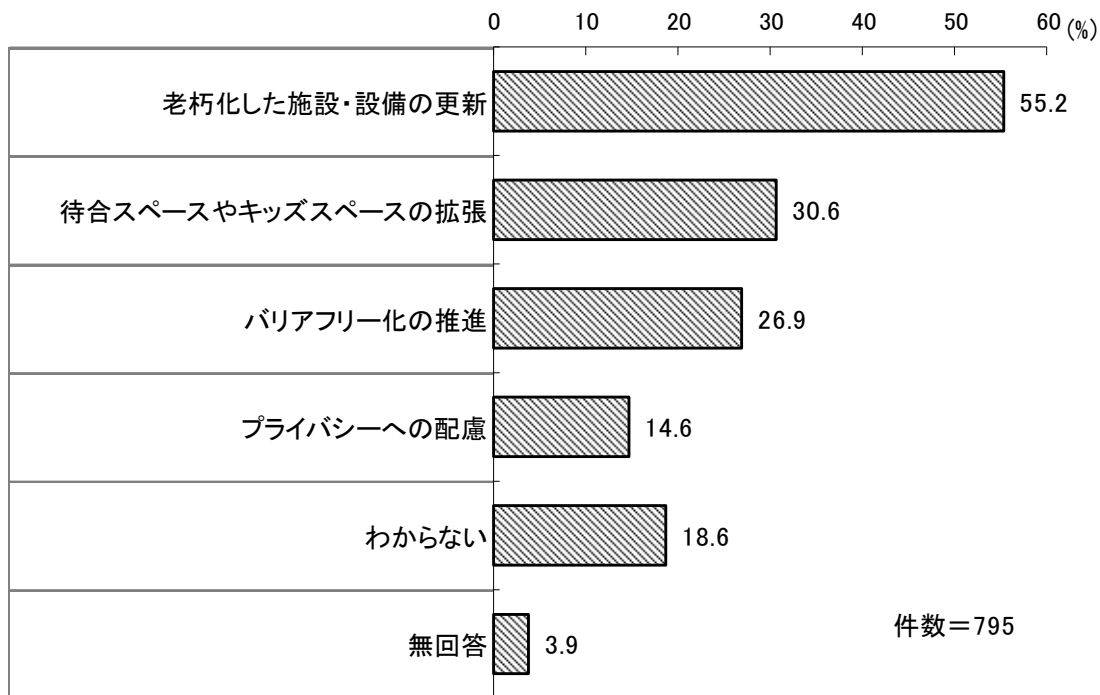


5. 守山区役所の環境について

5-1 守山区役所に必要な改善

○ 今後守山区役所に必要な改善としては、「老朽化した施設・設備の更新」の割合は55.2%と最も高く、区民の過半数があげている。次いで「待合スペースやキッズスペースの拡張」(30.6%)、「バリアフリー化の推進」(26.9%)は、3割前後であり、「プライバシーへの配慮」(14.6%)と続いている。また、「わからない」が18.6%みられた。

問12. 守山区役所は今後どのような改善が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

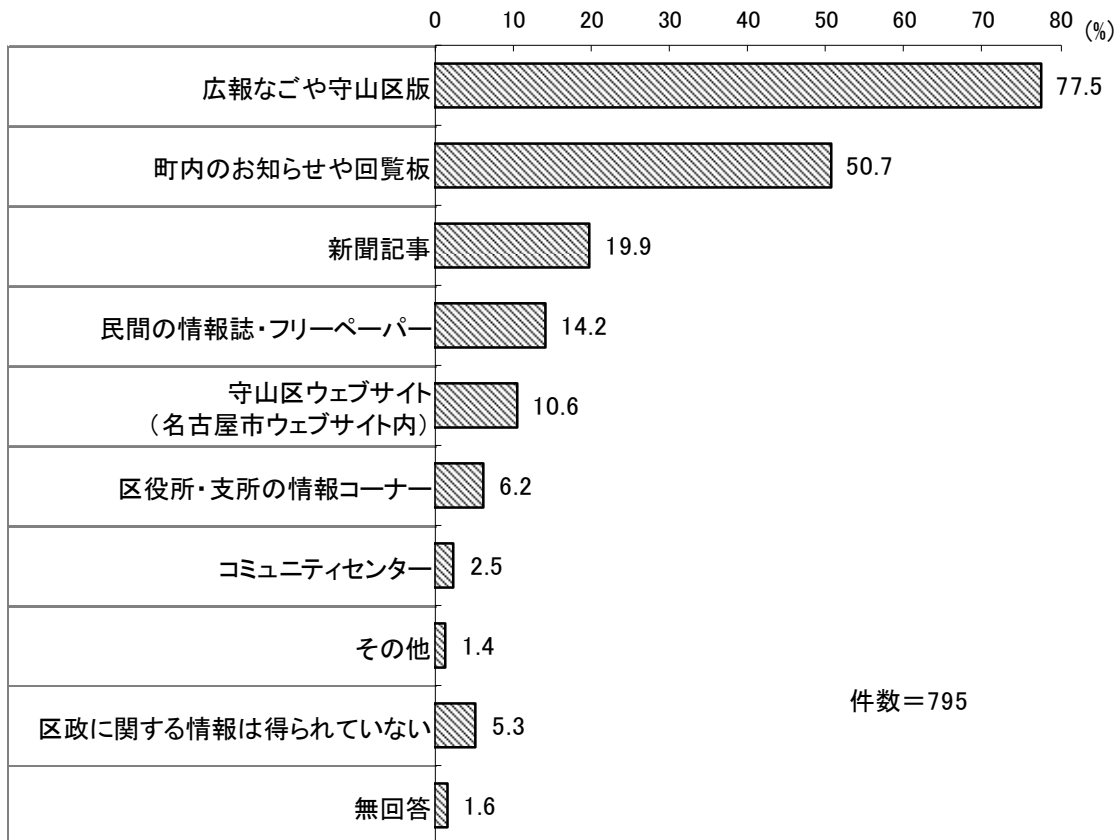


6. 広報について

6-1 情報入手経路

○ 区政に関する情報の入手先としては、「広報なごや守山区版」の割合が77.5%と最も高く、次いで「町内のお知らせや回覧板」(50.7%)であり、これらが重要な情報伝達ツールとなっている。以下、「新聞記事」(19.9%)、「民間の情報誌・フリーペーパー」(14.2%)、「守山区ウェブサイト(名古屋市ウェブサイト内)」(10.6%)、「区役所・支所の情報コーナー」(6.2%)、「コミュニティセンター」(2.5%)の順となっている。一方、「区政に関する情報は得られていない」は5.3%となっている。

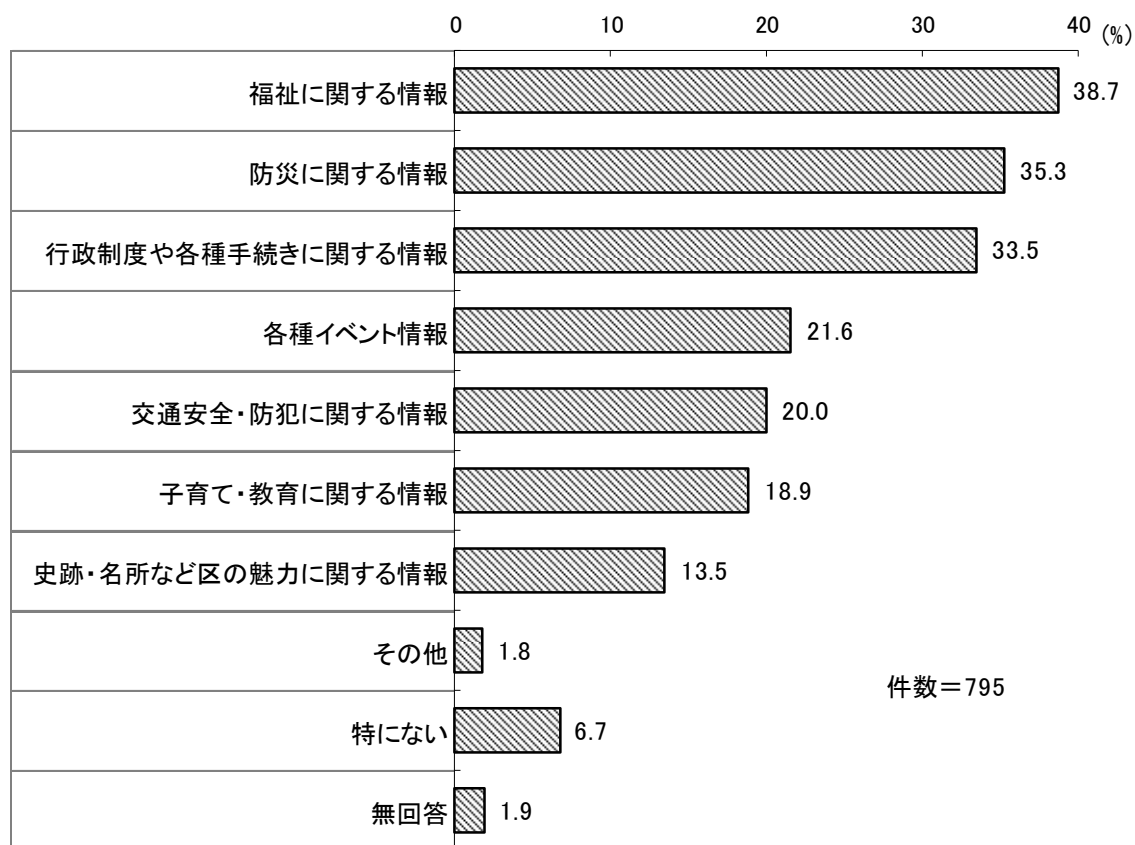
問13. あなたは、区政に関する情報をどのような手段でお知りになりますか。(○はいくつでも)



6-2 区政に関して知りたい情報

○ 区政に関して知りたい情報としては「福祉に関する情報」の割合が38.7%と最も高く、以下、「防災に関する情報」(35.3%)、「行政制度や各種手続きに関する情報」(33.5%)が3割台で続き、「各種イベント情報」(21.6%)、「交通安全・防犯に関する情報」(20.0%)、「子育て・教育に関する情報」(18.9%)は、それぞれ2割程であり、「史跡・名所など区の魅力に関する情報」は13.5%と、区民は多様な情報を欲している。一方、「特にない」は6.7%となっている。

問14. 区政に関して、あなたが知りたい情報は何ですか。(○は2つまで)



7. 新型コロナウイルス感染症の影響について

7-1 イベント参加に必要な対策

○ 新しい生活様式が定着する中、今後イベントに参加する場合は、「マスクやアルコール消毒などの対策の徹底」が必要と考える区民は 69.8%と多く、「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避」（62.3%）が必要と回答した区民も 6割以上みられ、イベント参加には対策が必要と考える区民が多く、「特に対策は必要ない」は 7.5%と 1割に満たない。

また、「人が集まるイベントはしばらく参加する意思はない」と回答した区民は 26.8%と 3割弱となっている。

問 15. 新しい生活様式が定着する中、今後イベントに参加する場合どんな対策が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

